

第34回オールジャパンレディスボウリングトーナメント 開催要項

2022.04.18 更新版

主催	公益財団法人全日本ボウリング協会
後援	公益社団法人日本ボウリング場協会、女性スポーツ財団日本支部 (WSF Japan) 公益財団法人東京都体育協会
協賛	株式会社サンブリッジ、ミーフコーポレーション
協力	日本ボウリング機構 (JBO)
主管	東京都ボウリング連盟

開催期日 2022年6月3日(金)～5日(日)

競技会場 平和島スターボウル (JBC 公認競技場 No.113-126 AMF-30L)
〒143-8532 東京都大田区平和島 1-1-1 ビッグファン平和島B館4F
TEL: 03-3768-9151 FAX: 03-3768-9153

競技種目 部門別個人戦

- (1) ルビークラス (旧: 一般レディスの部)
- (2) サファイアクラス (旧: シニアレディスの部)

年齢区分	(1) ルビークラス	2022年4月1日現在	満49歳以下の者
	(2) サファイアクラス	2022年4月1日現在	満50歳以上の者

競技方式 デュアルレーン方式 (アメリカ方式) で実施する。

競技方法 【予選】

各部門とも9ゲームの競技を行い (1ゲーム毎にレーン移動)、
その合計得点上位より各部門12名をセミファイナル出場者とする。

※セミファイナル進出人数は、参加人数により変更する場合がある。

【セミファイナル】

各部門とも更に3ゲームの競技を行い (1ゲーム毎にレーン移動)、予選との12ゲーム
の総得点により上位3位までの者をファイナルマッチ出場者とする。

4位以下の順位は、セミファイナル終了時の総得点で決定する。

【ファイナルマッチ】

ステップラダー方式で行う。各部門とも3位の選手と2位の選手が1ゲームマッチの競
技を行い、その勝者が1位の選手と1ゲームマッチの競技を行い、勝者を各部門の優勝

L♥ALL JAPAN LADIES BOWLING TOURNAMENT

者とする。

競技規程 JBC ボウリング競技規則を適用する。

同位の裁定 予選・セミファイナルにおいて同位が生じた場合は、第 133 条に基づき裁定する。
ファイナルマッチで同点の場合は、9・10 フレームの決定戦により順位を決定する。

H D C P ・ ルビークラス (49 歳以下)

年 齢	～14 歳 (中学生以下)	15 歳～ (高校生以上)
HDCP	10	0

・ サファイアクラス (50 歳以上)

年 齢	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75 歳以上
HDCP	0	5	10	15	20

以降、5 歳につき 5 点を加算する。

※年齢基準は、2022 年 4 月 1 日現在の満年齢とする。

参加資格 2022 年度の JBC に登録している女性会員（個人正会員、個人普通会員、実業団会員、学生連合会員、高等学校登録会員、ジュニア会員）で、各都道府県連盟および学生連合より代表選手として推薦された者。

参加割当 事前の参加希望人調査に基づき、別紙参加割当表の通りとする。
その他、ボーナス割当は次の通りとする。

- ・ 前年度各部門優勝者は参加資格を与える（施設使用料は主催者が負担する）

施設使用料 1 名につき

11,800 円（個人正会員、個人普通会員、実業団会員）

10,800 円（学生連合会員、高等学校登録会員、ジュニア会員）

褒 賞

各部門 優勝	賞状・メダル・カップ（取り切り）
準優勝～第 3 位	賞状・メダル
第 4 位～第 6 位	賞状
ハイゲーム賞	盾（予選 9G を対象、スクラッチ、同点の場合は該当者全員）

プリンセス賞 満 18 歳以下の最上位選手

クイーン賞 満 75 歳以上の最上位選手 ※年齢は 2022 年 4 月 1 日現在

ベストドレッサー賞 1 名

参加賞 参加者全員に贈る

ALL JAPAN LADIES BOWLING TOURNAMENT

特 典 各部門優勝者は来年度の第35回大会はシード選手として施設使用料を主催者が負担する。

申込方法 各都道府県連盟および学生連合にて取りまとめの上、所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、施設使用料を添えて、締切までに下記申込先へ申し込むこと。

(E-Mail 提出にご協力ください)

申込先 東京都ボウリング連盟

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-23-18 コーポ 73 12号室

TEL : 042-595-9208

FAX : 042-595-9209

Eメールアドレス : office@tokyo-bowling.com

申込締切 2022年4月28日(木) 必着

送金先 別紙送金明細書参照のこと。送金締切日は2022年5月2日(月) 厳守のこと。

- 注意事項**
- (1) 納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。また、自然災害や新型コロナウイルス感染症の拡大等により大会を中止した場合、旅費、宿泊費の補償はしない。
 - (2) 主催者として傷害補償責任等は一切負わない。各自において保険証(原本または写し)を持参するとともに、事故や怪我等に備え補償を受けられるスポーツ傷害保険等へ加入すること。
 - (3) 公認ゲーム消化証明は、各団体の責任において確認すること。
 - (4) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること。
 - (5) ボールについて
 - 参加選手は、会場内に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。ボールの登録は、2個目から1個につき500円を納入するものとする。5個目からは特別保管料として、1個につき1,000円を追加徴収する。ボールの追加登録は原則として認めない。
 - 原則、ボールの当日検査は行わない。選手は事前に各都道府県にてボール検査合格証の発行を受けること。
 - 会場内へのボールの持ち込みは4個以内に自粛すること。
 - 競技中に参加全選手の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
 - (6) 女性だけの唯一の全国大会のため、できるだけ監督も女性を選任すること。
 - (7) JBCの定める「新型コロナウイルス感染症予防策ガイドライン」に基づいて実施する。参加にあたり、選手は大会当日、新型コロナウイルス感染症リスクチェックシートを提出し、予防策ガイドラインを遵守すること。遵守しない場合、大会の参加を認めないので注意すること。
 - (8) 本大会の映像・写真・記事・記録等における個人情報(氏名・年齢・性別・記録・肖像等)は、広報の目的で使用・公開する。また報道機関に提供することがある。その掲載

権・使用権は主催者に属する。

- (9) 本大会開催中、会場内で撮影した写真・映像等は、映る人物の個人情報（肖像を含む）およびプライバシーに配慮し、個人使用の範囲内に限ることとする。報道目的、企業活動での撮影および公開は、必ず主催者の許可を得ること。

ドーピング 検査について

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
2. 本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト (<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>) からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。